古代アメリカ学会
第27回研究大会・総会

2022年12月3日(土)、4日(日)
名古屋大学東山キャンパス
野依記念学術交流館
地下鉄名城線「名古屋大学」駅
2 番出口より徒歩約 5 分

プログラム

【12 月 3 日（土）】

12:40	受付開始
13:15-15:05	調査速報
15:15-16:15	研究発表
16:30-18:00	総会

【12 月 4 日（日）】

08:40	受付開始
09:00-12:00	研究発表

会員無料 非会員 500 円

ペルー、チャウピヤク遺跡
©金崎由布子

主催：古代アメリカ学会　共催：名古屋大学大学院人文学研究科

古代アメリカ学会事務局
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
専修大学生田キャンパス 10 号館
井上幸孝研究室内

プログラム詳細は裏面をご覧ください
研究大会の詳細は学会 HP: https://americaantigua.org/
E-mail: info@americaantigua.org

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

古代アメリカ学会 第 27 回研究大会・総会

12/3（土）

12:40　受付開始

13:10　開会のことば

【調査速報 13:15-15:05】

13:15　ペルー、モンソン川流域第一次調査速報
金崎由布子（東京大学）
カルロス・ヴィヴィアノ（ペルー国立サン・マルコス大学）
大谷博則（モンソン川流域考古学プロジェクト）
佐藤優音（東京大学）
ホセ・オノフレ（ペルー文化省ワヌコ支局）

13:35　山のナスカ：ペルー、ワンカベリカ州チュパ遺跡の第 1 次発掘調査
土井正樹（関西外国語大学）
フレディ・ワマン・リラ（チュパ遺跡考古学プロジェクト）

―― 休憩 10 分 (13:55－14:05) ――

14:05　X 線 CT による笛吹きボトル土器の構造の分析
吉田晃章（東海大学）
鶴見英成（放送大学）
真世土マウ（岡山県立大学）
喜多理王（東海大学）
粟野若枝（東海大学）

14:25　PIACL2022
松本剛（山形大学）
ガブリエラ・デ・ロス・リオス（ランバイェケ複合考古学プロジェクト）
ジャンポール・ニエベス・コルドバ（ランバイェケ複合考古学プロジェクト）
ステファニー・ママニ・エスコバル（ランバイェケ複合考古学プロジェクト）
大谷博則（ランバイェケ複合考古学プロジェクト）
ガブリエル・ビジェガス・フルカ（ランバイェケ複合考古学プロジェクト）

14:45　ペルー北部ハエン地方における LiDAR 測量
山本睦（山形大学）
大谷博則（インガタンボ考古学プロジェクト）
オスカル・アリアス（ペルー国立サン・マルコス大学）
ガブリエル・ビジェガス・フルカ（インガタンボ考古学プロジェクト）
ケビン・エスピリトゥ（インガタンボ考古学プロジェクト）
鶴見英成（放送大学）

―― 休憩 10 分 (15:05－15:15) ――

【研究発表 15:15-16:15】

15:15　マヤ文明の起源、交換とものづくり：メキシコ、アグアダ・フェニックス遺跡の石器分析を通して
青山和夫（茨城大学）

15:45　考古学からみたエル・ニーニョ現象と資源量の変動サイクル
荘司一歩（日本学術振興会特別研究員 PD）
ビクトル・バスケス（考古生物学研究所アルケオビオス）
テレサ・ロサーレス（トルヒーヨ大学）

―― 総会の参加資格と定足数確認作業 (16:15－16:30) ――

16:30　総会（会員のみ）

12/4（日）

08:40　受付開始

【調査速報 09:00-12:00】

09:00　チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区 2022 年夏の調査
伊藤伸幸（名古屋大学）

09:20　メソアメリカの絵文書とアルファベット年代記 ―シウアマトル（「年の書」）という観点から―
井上幸孝（専修大学）

―― 休憩 10 分 (09:40－09:50) ――

09:50　古代アンデスにおける戦争と社会
渡部森哉（南山大学）

10:10　ペルー北高地ラ・カピーヤ遺跡における「巻き貝の神官墓」の発見
関雄二（国立民族学博物館）
フアン・パブロ・ビジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）
ダニエル・モラーレス・チョカーノ（ペルー国立サン・マルコス大学）

10:30　クントゥル・ワシ遺跡における形成期のラクダ科動物飼育の検証
瀧上舞（国立科学博物館）
鵜澤和宏（東亜大学）
井口欣也（埼玉大学）

―― 休憩 10 分 (10:50－11:00) ――

11:00　連結する文化遺産；ペルー都市部における先史時代の道と水路をめぐる問題とその可能性
サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ（立命館大学）

11:20　ペルー南海岸、トレス・パロス I、II 遺跡発掘調査速報
松本雄一（国立民族学博物館）
ホルヘ・オラーノ・カナーレス（パリ第一大学）
坂井正人（山形大学）

11:40　『輿上の神』：地方プカラ様式と「正面向きの神」の起源について
佐藤吉文（南山大学／京都外国語大学）

12:00　閉会のことば

※発表時間は、調査速報は２０分、研究発表は３０分です。